

スパイスグラインダー 【ワーリング】

WSG60（業務用）



取扱説明書



このたびは、当社のワーリング スパイスグラインダー（WSG60）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ



安全上のご注意.....	1～7
スパイスグラインダーでできること.....	8
各部の名称.....	9
据付けについて.....	10・11
操作手順.....	12～16
お手入れ.....	17～23
ボウル、ロックカバーの洗浄.....	18～22
本体の清掃.....	23
故障の診断と手当.....	24・25
電源プラグ、アース線の点検（年に1～2回の点検）.....	26
電源プラグの点検.....	26
アース線の点検.....	26
仕様.....	28
梱包内容一覧.....	28
保証書(別添付)について/消耗部品/補修用性能部品の保有期間.....	29

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多い所や、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



確認

据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、ショート、火災の原因になります。

⚠ 警告



禁止

電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

異常時は「START/STOP」スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



換気

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



挿入禁止

カッターの回転中は、指、箸、スプーンなどを入れないこと

誤ってカッターに触れた場合、ケガの原因になります。
カッターや箸、スプーンが破損した場合は、異物混入の原因になります。

⚠ 警告



禁止

カッターの回転が完全に止まるまでは、ロックカバーを取り外さないこと

誤ってカッターに触れた場合、ケガの原因になります。
食材が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた食材で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



プラグを抜く

ボウルに食材を入れるときや取り出すときは、「START/STOP」スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜くこと

誤って各スイッチに触れた場合、カッターが回転してケガをする恐れがあります。



プラグを抜く

ボウルの取り外しの際は、「START/STOP」スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜くこと

誤って各スイッチに触れて、カッターが回転した場合、ケガをする恐れがあります。
周囲を汚す原因にもなります。



禁止

修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。



本体を持つ

本機を持ち上げるときは、本体を持つこと

ロックカバーやボウル部分を持って持ち上げたりすると、転倒や落下によるケガの原因になります。

食材がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。



本体を持つ

ボウルやロックカバーの取り付け、取り外しの際、本体をしっかり押さえておこなうこと

本機を転倒させた場合、ケガの原因になります。
食材がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。



禁止

80℃を超えている熱いものや、調理中に80℃を超える材料(液体と食材)は処理しないこと

モーター回転による摩擦熱で高温になり、膨張した空気の影響でロックカバーとボウルの間から材料が漏れ出す原因になり、漏れ出した材料が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります。

調理し続けると、シール部やパッキンなどの部品が破損し、材料がシール部から漏れる原因にもなります。



禁止

45℃を超える熱い材料(80℃以下の液体や食材)は、250mLを超える量はいれないこと

ロックカバーとボウルの間から材料が漏れ出す原因になり、漏れ出した材料が機械内部に入ると、絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

食材の取り出しは、ボウルを本体に取り付けたままおこなわないこと

転倒や落下させた場合、ケガをする原因になります。
食材がこぼれた場合、周囲を汚す原因にもなります。

⚠ 注意



禁止

45℃以上の熱い材料(80℃以下の液体や食材)が容器に入っているときは、ボウルのゴムのカバー部分以外を触らないこと

ボウルの金属部分を持つと、やけどをする原因になります。



しっかり持つ

45℃以上の熱い材料(80℃以下の液体や食材)が容器に入っているときに、ボウルを持ち上げるときは、ゴムのカバー部分をしっかりと持つこと

容器を落としたりすると、やけどやケガをする原因になります。

材料がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。

材料が本体にかかった場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の各スイッチを押したり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



プラグを抜く

本体の清掃のときや点検のときは、必ず「START/STOP」スイッチを押して機械を止め、電源プラグも抜くこと

誤って各スイッチに触れた場合、カッターが回転してケガの原因になります。

漏電、ショート、感電の原因にもなります。



禁止

モーターの回転中は、ロックカバーを取り外さないこと

食材が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた食材で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



除菌洗浄

ボウル内のカッター、ボウル、ロックカバーなど食材が接する部分は使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



洗い流す

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。

⚠ 注 意



禁止

付属の「FMI除菌洗淨剤」は、口に入れたり、飲み込んだりしないこと
健康障害の原因になります。



洗淨剤保管

付属の「FMI除菌洗淨剤」は、子供の手の届かない所に保管すること
誤って口に入れたり、飲み込まれますと、健康障害の原因になります。



洗淨剤保管

付属の「FMI除菌洗淨剤」を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること
素手で取り扱うと、手荒れの原因になります。



プラグを抜く

ご使用後は、安全のため電源プラグを抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めること

スパイスグラインダーでできること

乾燥した食材や香辛料などを粉砕、攪拌することができます

乾燥させた香辛料などの粉砕し粉状にしたり、複数の香辛料を粉砕しながら混ぜ合わせたりすることができます。

乾燥させたエビやニボシなどを粉砕、攪拌してふりかけなどを作ることができます。

乾燥させたお茶の葉を粉状にすることができます。

水分を多く含む、食材をすりつぶすことができます

水分を多く含む野菜や果物を使うことで、氷を使わずにスムージーを作ることができます。

ソースやマヨネーズ、離乳食を作ることができます。

お願い

本機は「ブレンダー」や「フードプロセッサー」ではありません。

下記のような食材の処理はできません。

野菜や果物のみじん切りや、すりおろし

肉や魚のミンチ

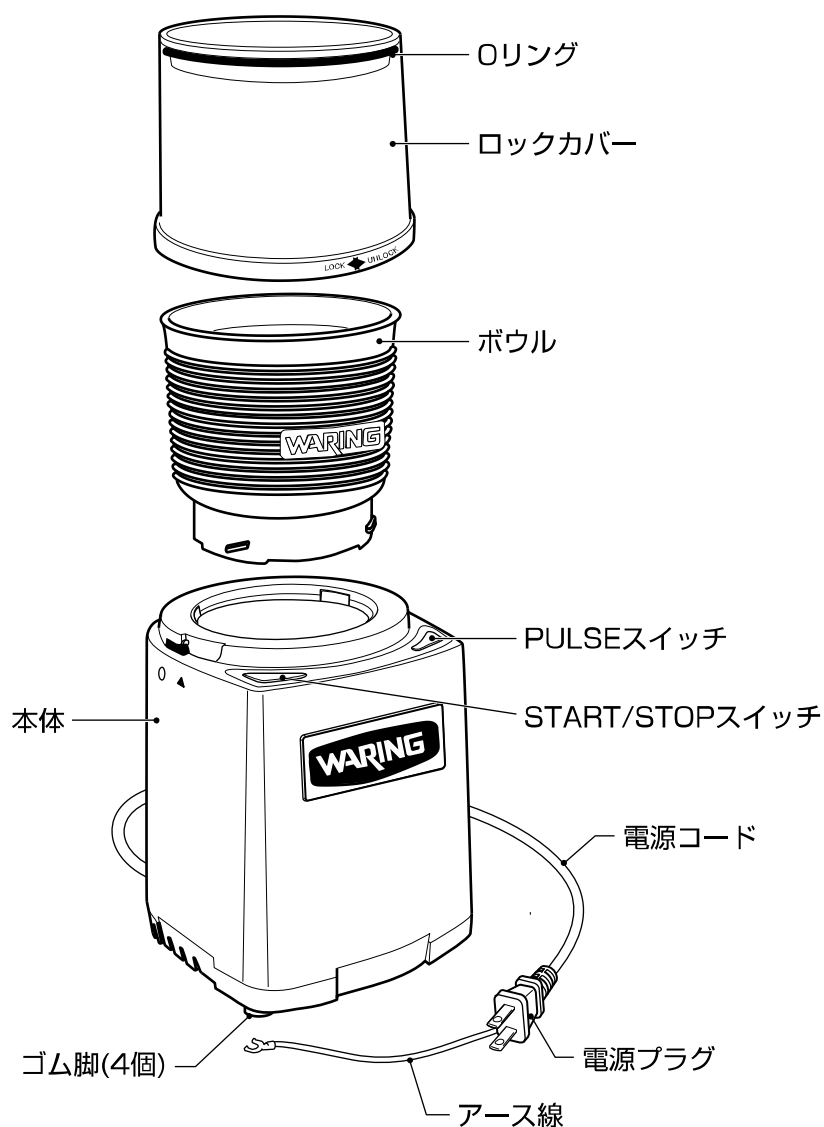
堅い食材（ロックアイス、氷砂糖、鰹節の塊、生のカボチャやさつま芋など）の粉砕、攪拌

ドライフルーツや乾燥野菜（干し芋など）の粉砕、攪拌

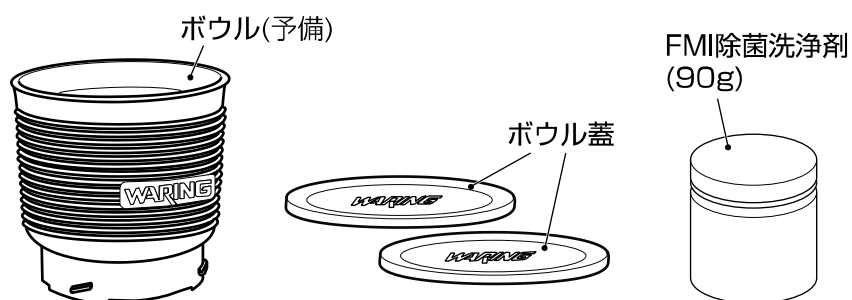
各部の名称

本機は、食材を粉碎し攪拌する機械です。

本体



付属品



据付けについて

⚠ 警告



アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備の専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



湿気の多い所や、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。

作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください

各スイッチが正面側にくるように据え付けてください

据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認してください

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの故障の原因になります。

本機は、コンセントに電源プラグを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：1.75m

電源プラグのアース線をアース端子に接続してください

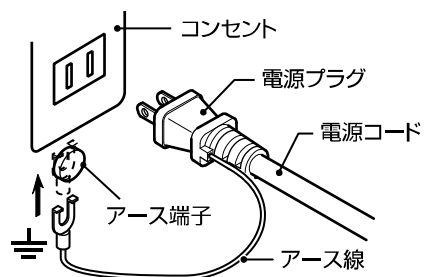
アース線は、電源プラグより出ている緑色の線です。

ご使用の際は、本機専用のコンセントに電源プラグを差し込んでください

お願い

延長ケーブルを使わずに直接 100V のコンセントに接続してください。

長い延長ケーブルなどを使用しますと、電圧降下のため起動しないことがあり、電圧降下が大きい場合（モーター起動電圧 AC85V 以下）は、モーターの起動電流値が異常に高くなり、故障の原因になります。



操作手順

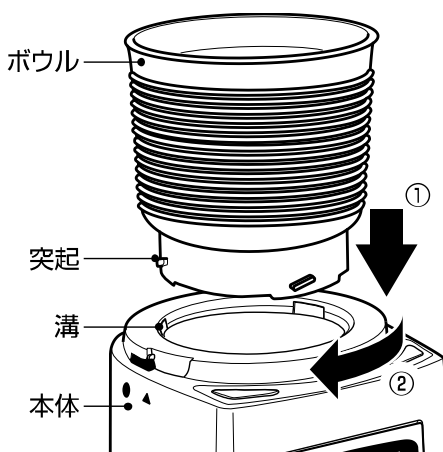
お願い

本機は、食材を粉碎、攪拌する機械です。
食材の粉碎、攪拌以外には使用しないでください。

1. ご使用の前に「お手入れ」（17ページ）を参照して、ボウル、ロックカバーをきれいに洗淨してください

2. ボウルを本体に取り付けてください

- ① ボウルは、ボウルの下部にある突起（3箇所）を本体側の溝（3箇所）に合わせて本体にはめ込んでください。
- ② ボウルを上から見て時計方向に止まるまで回して固定してください。



3. お好みの食材をボウル内に入れてください

⚠ 注意



80℃を超えている熱いものや、調理中に80℃を超える材料(液体と食材)は処理しないこと

モーター回転による摩擦熱で高温になり、膨張した空気の影響でロックカバーとボウルの間から材料が漏れ出す原因になり、漏れ出した材料が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります。
調理し続けると、シール部やパッキンなどの部品が破損し、材料がシール部から漏れる原因にもなります。

45℃を超える熱い材料(80℃以下の液体や食材)は、250mLを超える量はいれないこと

ロックカバーとボウルの間から材料が漏れ出す原因になり、漏れ出した材料が機械内部に入ると、絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。

メモ

大き目の食材は 25 mm 角程度に切る、または刻んでから入れてください。

お願い

本機では、粉碎や攪拌ができない食材がありますので、8 ページを参照して、粉碎や攪拌できない食材は入れないようにしてください。

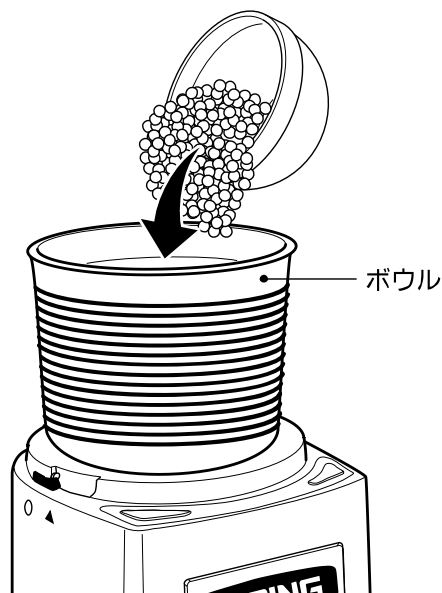
食材の量は、最大 700mL（液体は最大：300mL まで）、最小 200mL の範囲にしてください。

食材を入れ過ぎると、攪拌中に食材があふれ出ます。

少なすぎると、うまく攪拌されません。

80℃を超えている熱いものや、調理中に 80℃を超える材料(液体と食材)は調理しないでください。

45℃を超える熱い材料(80℃以下の液体と食材)は、320mL を超える量はいれなくてください。




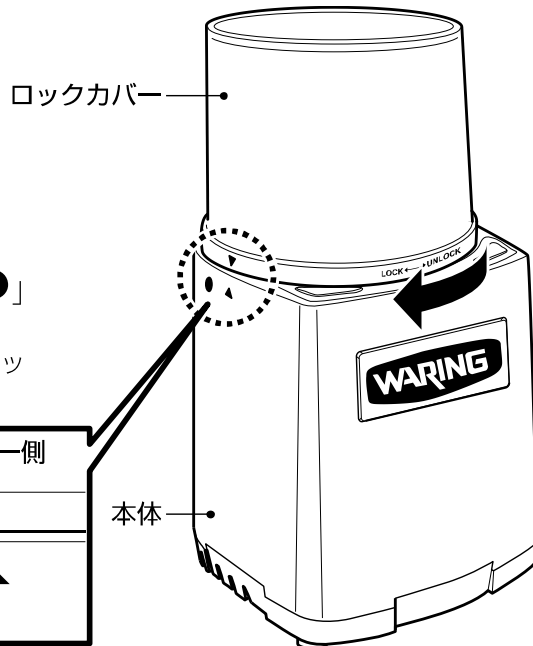
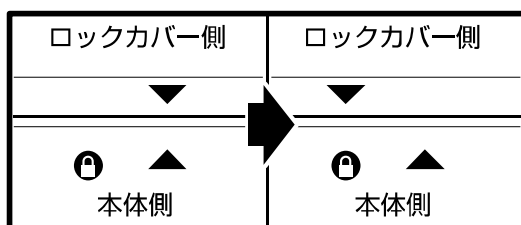
4. ロックカバーを取り付けてください

- ① ロックカバーの「▼」マークを本体の「▲」マークに合わせて、取り付けてください。
- ② ロックカバーを上から見て時計方向に止まる場所までしっかり回して固定してください。

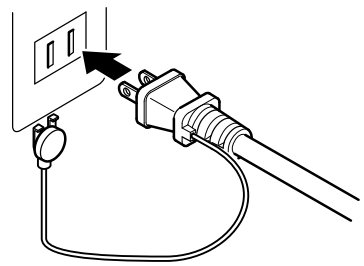
ロックカバーの「▼」マークと本体の「」マークがそろう位置です。

メモ

ロックカバーの「▼」マークが本体の「」マークとそろっていないと、「START/STOP」スイッチを押してもカッターは回転しません。



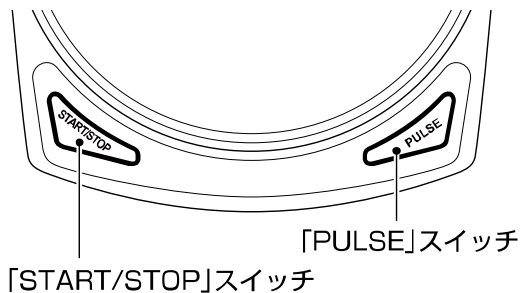
5. 専用コンセントに、電源プラグを差し込んでください



6. 調理おこなってください

「PULSE」スイッチを数回押して、食材を軽く砕いてください。

その後、「START/STOP」スイッチを押して攪拌してください。



約30秒～60秒で調理が仕上がります。

お願い

1 回の攪拌は長くても2分以内にしてください。

連続使用する場合は、2分間攪拌するごとに1分間停止してください。

本機は、連続で攪拌しつづけても2分30秒経過すると停止します。

異音や振動が大きいときは、食材を減らしてください。

7. 攪拌が終わりましたら、もう一度「START/STOP」スイッチを押してカッターの回転を止めてください

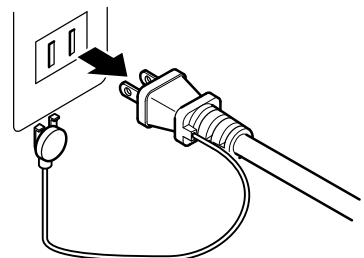
⚠ 注意



モーターの回転中は、ロックカバーを取り外さないこと

食材が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた食材で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

8. 電源プラグを抜いてください



9. 食材を取り出してください

⚠ 注意



モーターの回転中は、ロックカバーを取り外さないこと

食材が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた食材で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



ボウルやロックカバーの取り付け、取り外しの際、本体をしっかり押さえておこなうこと

本機を転倒させた場合、ケガの原因になります。
食材がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。



食材の取り出しは、ボウルを本体に取り付けたままおこなわないこと

転倒や落下させた場合、ケガをする原因になります。
食材がこぼれた場合、周囲を汚す原因にもなります。



45℃以上の熱い材料(80℃以下の液体や食材)が容器に入っているときは、ボウルのゴムのカバー部分以外を触らないこと

ボウルの金属部分を持つと、やけどをする原因になります。



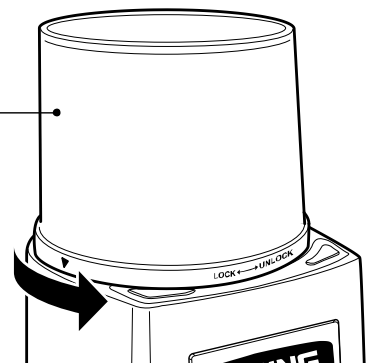
45℃以上の熱い材料(80℃以下の液体や食材)が容器に入っているときに、ボウルを持ち上げるときは、ゴムのカバー部分をしっかりと持つこと

容器を落としたりすると、やけどやケガをする原因になります。
材料がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。

材料が本体にかかった場合、漏電、ショート、感電の原因になります。

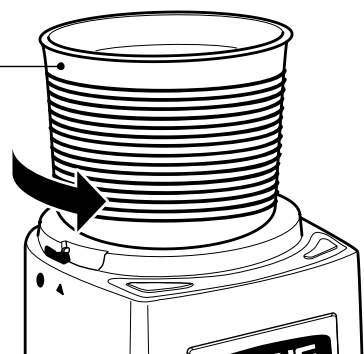
- ① ロックカバーは反時計方向に止まるところまで回して本体から取り外してください。

ロックカバー



- ② ボウルは反時計方向に止まるところまで回して本体から取り外してから、ボウル内の食材を取り出してください。

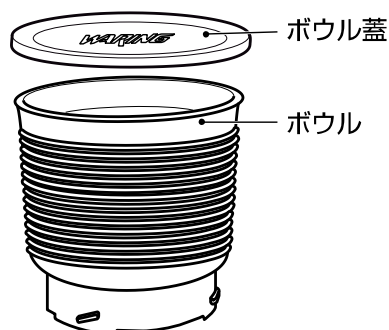
ボウル



メモ

ボウルは、乾燥した食材や香辛料など、水分の少ない食材の保存容器としてご使用いただけます。

食材を保存する場合は、付属のボウル蓋をボウルに取り付けて保存してください。



ボウル蓋

ボウル

お願い

水分の多い食材や油分の多い食材をボウル内で保存することは絶対にしないでください。

食材を長時間入れたままにしておきますと、カッターアッセンブリー部分より液が漏れることがあります。

カッターアッセンブリーの内部が損傷し、故障の原因にもなります。

ボウルは、ガスコンロなどの直火や、熱器具の上やそばに置いたりしないでください。

樹脂部品が溶けます。

ボウルは、電子レンジやオーブンなどで使用しないでください。

樹脂部品が溶ける恐れがあります。

火花が発生して大変危険です。

電子レンジの故障の原因にもなります。

10. 使用後は、本機のお手入れをしてください

「お手入れ」（17ページ）参照

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」をおこなってください

初めて機械を使用する場合。
調理後、速やかに。
繰り返し使用する場合、30分おき。

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



ボウル内のカッター、ボウル、ロックカバーなど食材が接する部分は使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄すること
除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。

お願い

ボウル、ロックカバー、Oリングを洗浄するときは、食器洗浄機などは使用せずに 80℃ 以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると変形したり、変色したりする恐れがあります。

洗浄や清掃をするときは、かたいタワシなどでこすらないでください。

キズがつく恐れがあります。

洗浄後、本機を保管される場合は、各部品をアルコール除菌剤で除菌してください。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、および変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、付属の「FMI 除菌洗浄剤」のような無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

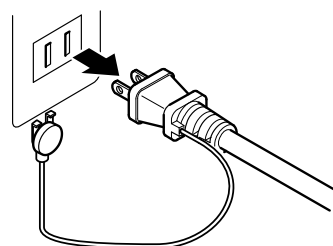
濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。

除菌洗浄剤（「F M I 除菌洗浄剤」を含む）、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

「F M I 除菌洗浄剤」をご購入の場合は、弊社(株式会社 エフ・エム・アイ)または納入代理店へご連絡ください。

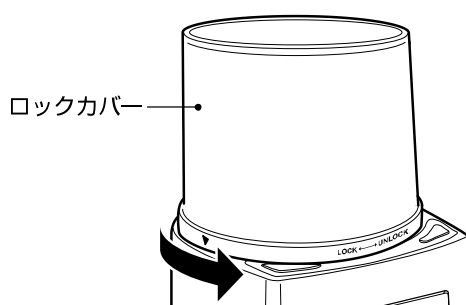
ボウル、ロックカバーの洗浄

1. 電源プラグを抜いてください



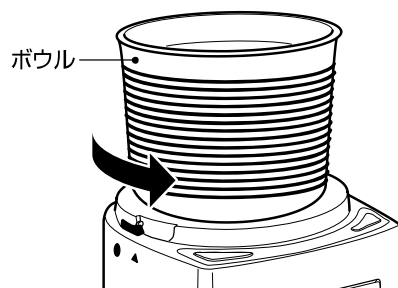
2. 本体からロックカバーとボウルを取り外して、ボウルとロックカバーをすすぎ洗いしてください

ロックカバーは反時計方向に止まるところまで回して本体から取り外してください。



ボウルは反時計方向に止まるところまで回して本体から取り外してください。

ボウル内に食材が残っている場合は、取り出してください。



水、または温水を流しながら、ロックカバー、ボウルに付着した食材をすすぎ流してください。

3. ボウル内を洗浄してください

ボウル内に、「FMI除菌洗浄剤」を溶かしたぬるま湯を約1/3程度入れてください。

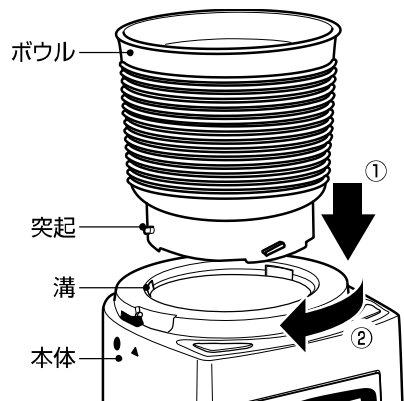
お願い

ボウル内の洗浄は、「FMI 除菌洗浄剤」のような無泡性の除菌洗浄剤の使用が望ましいですが、食器用中性洗剤を使用される場合は、ボウル内に入れる水の量はカッターが漬かる程度にし、食器用中性洗剤を少量入れて、カッターを回転させて洗浄してください。

ボウル内に水を多量に入れますと、回転させたときボウルとロックカバーの間から泡が溢れ出ることがあります。

ボウルは、ボウルの下部にある突起（3箇所）を本体側の溝（3箇所）に合わせて本体にはめ込んでください。

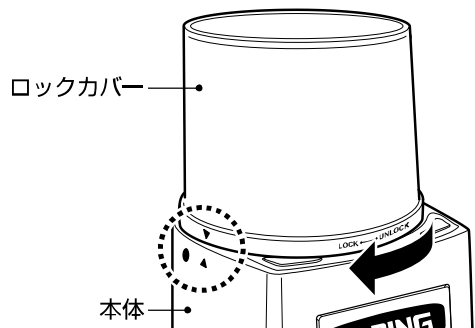
ボウルを上から見て時計方向に止まるところまで回して固定してください。



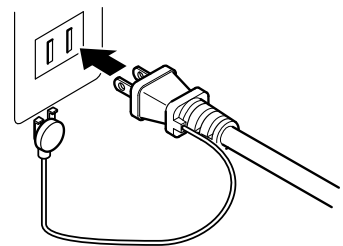
ロックカバーの「▼」マークを本体の「▲」マークに合わせて、はめ込んでください。

ロックカバーを上から見て時計方向に止まるところまでしっかり回して固定してください。

ロックカバーの「▼」マークと本体の「▲」マークがそろった位置です。



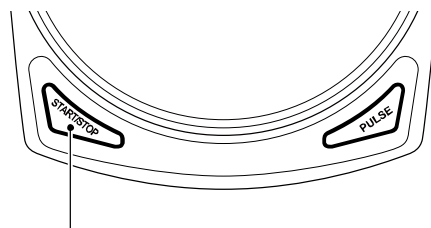
専用コンセントに、電源プラグを差し込んでください。



「START/STOP」スイッチを押して約 1 分間、カッターを回転させてください。

メモ

油脂分を多く含んだ食材を調理したとき、または食材のこびり付きがひどいときは、状態に応じて高速回転時間を長く(2 分間程度に)してください。



「START/STOP」スイッチ

もう一度「START/STOP」スイッチを押して止めてください。

本体からロックカバーとボウルを取り外して、洗浄剤が入った水をすべて捨ててください。

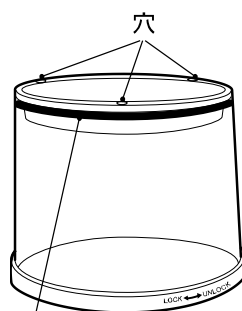
4. ロックカバーからOリングを取り外してください

Oリングの取り外しは、ロックカバーの上部にある 3箇所の穴から細長い棒状のものでOリングを押して取り外してください。

お願い

Oリングは、キズをつけないようにしてください。

キズがつきますと、攪拌中に食材が漏れる原因になります。



Oリング

5. ボウル、ロックカバー、Oリングを洗浄してください

ボウル、ロックカバー、Oリングを定められた使用濃度分の「FMI除菌洗浄剤」を溶かしたぬるま湯で、布かスポンジできれいに洗浄してください。

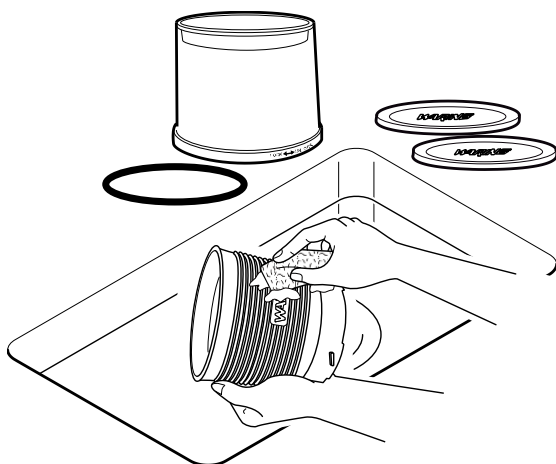
お願い

ボウル、ロックカバー、Oリングは、硬いタワシなどでこすらないでください。

キズがつく恐れがあります。

ボウル、ロックカバー、Oリングを流水で洗剤成分が残らないように充分すすぎ洗いをしてください。

清潔な布で各部品に付着した水分を拭き取ってください。



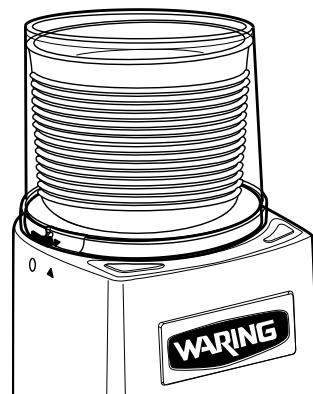
6. ボウル内のカッターアッセンブリーの水分を取り除いてください

ボウルを空の状態、本体に取り付けてください。

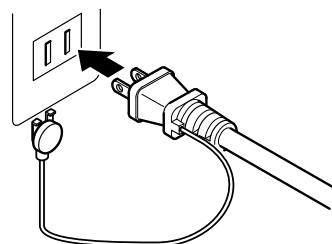
ロックカバーを本体に取り付けてください。



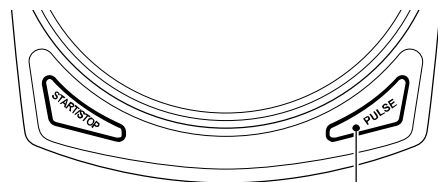
Ｏリングは取り付けなくても大丈夫です。



専用コンセントに、電源プラグを差し込んでください。

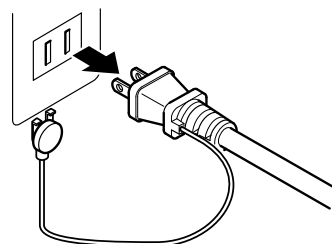


「PULSE」スイッチを約3秒間押して、カッターを回転させてください。



「PULSE」スイッチ

電源プラグを抜いてください。



7. ロックカバー、ボウルを取り外し、清潔な布で各部品に付着した水分を拭き取り、空気乾燥させてください

ボウル内に付着した水分を拭き取ってから空気乾燥させてください。

お願い

ボウル内のカッターアッセンブリーは、すぐに清潔な布でボウルの水分を拭き取ってください。

ボウル内のカッターアッセンブリーに水分がついたまま放置しますと、金属部分が錆びる可能性があります。

金属部分が錆びると、カッターの回転不良の原因になります。

Oリングなどのゴム製品は、よく空気乾燥させてください。

水分が残っていると、腐食の原因になります。

8. 乾燥した各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください

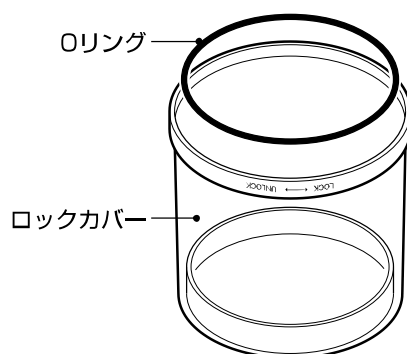
お願い

アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法、および使用上の注意事項に従ってください。

保管される場合は、乾燥した場所に保管してください。

9. ロックカバーにOリングを取り付けてください

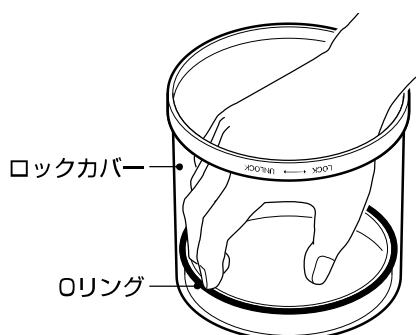
右図のとおり、ロックカバーの内側の溝にOリングを取り付けてください。



指でOリングの全周を溝の中に収めてください。

メモ

Oリングを奥まで押し込むには、ボウルをひっくり返して、ボウルの縁でOリングを押し込んでください。



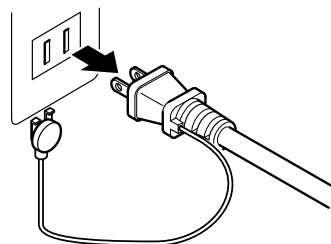
本体の清掃

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

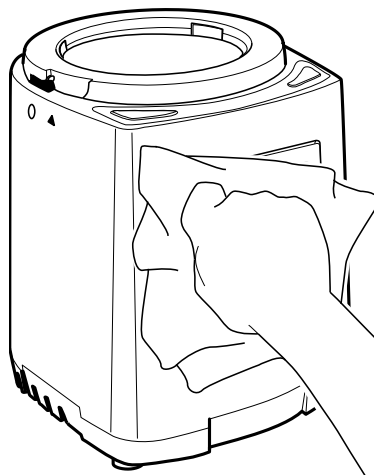
1. コンセントから、電源プラグを抜いてください



2. 本体は、中性洗剤を入れたぬるま湯で布巾を絞り、付着した食材をきれいに拭き取ってください

お願い

クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。
キズが付いたり、破損の原因になります。



3. すすぎ用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭き取って空気が乾燥させてください

4. アルコール除菌剤をしみ込ませた布で拭いて除菌作業をおこなってください

お願い

アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法、および使用上の注意事項に従ってください。



保管される場合は、乾燥した場所に保管してください。

故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の『START/STOP』スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

状 態	確 認 / 症 状	手 当
『START/STOP』スイッチ、または『PLUSE』スイッチを押してもモーターが回らない。	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグが抜けている場合は、専用コンセントに、電源プラグを差し込んでください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	ロックカバーは取り付けられていますか？	ロックカバーを取り付けてください。
	ロックカバーの「▼」マークと本体側の「  」マークの位置はそろっていますか？	ロックカバーの「▼」マークを本体側の「  」マークの位置にそろえてください。
	モーター保護装置が動作している？	モーターが冷めるまで、電源プラグを抜いてしばらく放置してください。
	操作スイッチの故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
ボウルあたりから異常音が発生する。	丈夫なところに設定していますか？	水平で平らな場所、丈夫なところに据え付けてください。
	据え付けが悪く、ガタついていませんか？	
	ロックカバー、ボウル、Oリングが正しくセットされていますか？	ロックカバー、ボウル、Oリングを正しくセットしてください。
	モーター側カップリングまたはボウル側カップリングの不良の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
モーターから異常音が発生する。 回転振動が大きい。	モーター不良の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
	モーター軸受部の不良の可能性があります。	

状 態	確認 / 症状	手 当
調理中に『START/STOP』スイッチを押しても、カッターが回転し続ける。	スイッチの故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
『PLUSE』スイッチから指を離しても、カッターが回転し続ける。	スイッチの故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
食材が漏れる	食材を入れすぎていませんか？	1 度にたくさんの食材をいれないでください。
回転ムラがある	—	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF（切）」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF（切）」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF（切）」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON（入）」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。

電源プラグの点検（年に1～2回の点検）

電源プラグの点検

次の項目を点検してください。

電源プラグが、専用のコンセントに差し込まれていますか？

他の機器との共用を中止し、専用のコンセントを用意してください。

電源プラグや電源コードに異常な発熱や破損、重いものが乗ったり、挟み込まれていませんか？

異常の場合は、すぐにお買上げ店へ修理を依頼してください。

電源プラグの刃と刃の取り付け面、コンセントにほこりがついていませんか？

ほこりがついている場合は清掃して取り払ってください。

アース線の点検

アース線が切れたり接続部が緩んでいませんか？

異常の場合は電気工事業者に修理を依頼してください。

仕様

品 名	スパイスグラインダー 【ワーリング】	
型 式	WSG60	
外 形 寸 法	幅 162・奥行 175・高さ 300mm	
電 源	100V 50 / 60Hz	
電 流	7.5 A（2分定格）	
消 費 電 力	620 W	
回 転 数	18,000r.p.m. / 20,000r.p.m. 【無負荷時】	
材 質	本 体	アルミダイキャスト
	ボ ウ ル	ステンレス
	ロックカバー	トライタン
	カ ッ タ ー	ステンレス
ボウル容量		880mL
処 理 容 量		最大：700mL（液体は最大：300mLまで）、最小：200mL
質 量		3.5 kg
電 源 コ ー ド		長さ：1.75m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

梱包内容一覧

パッケージには、次のものが入っています。足りない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

本体（モーター部）	1 個
ボウル	2 個
ロックカバー	1 個
ボウル蓋	2 個
FMI除菌洗浄剤（90g）	1 個
取扱説明書（本書）	1 冊
保証書	1 部

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

ボウル	ロックカバー
カッターアッセンブリー	パッキン類
付属の洗剤	—

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後7年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営 業 所 札 幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス 盛 岡：〒020-0124 盛岡市麴川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四 国：〒768-0012 香川県観音寺市檀田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202010 PB